

福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
第4号 令和4年7月1日

甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○暑い夏がやってきます ～水分を補給して体調管理を～

例年よりもだいぶ早い梅雨明けを迎え、いよいよ夏本番です。保護者の皆様は、いかがお過ごしでしょうか。

先月は県内で最高気温が40℃を越える所があり、一気に真夏がやって来た感じがします。そんな中、子どもたちの熱中症が心配されます。長時間のマスク着用は、体温調節の妨げになります。しかし、子どもたちは、なかなかマスクを外さない傾向があります。学校では、友だちとの距離をとって歩く登下校時や、校庭で遊ぶ休み時間、体育の授業中、教室でも読書中やテスト中は、マスクを外してよいと話しています。ご家庭でもマスクの脱着について話し合ってください、屋外ではマスクを外すようにご指導をお願いいたします。

7月は1学期のまとめの時期です。1学期の成果と課題を振り返り、2学期につなげていきたいと思えます。今後とも教育活動へのご支援、ご協力をお願いいたします。

○PTA廃品回収 ～地域の皆様のご協力に感謝～

先月の梅雨の晴れ間の土曜日に、PTA主催の廃品回収を行いました。地域の皆様には、朝早くから資源物の提供を大変お世話になりました。

校庭では、アルミ缶、本・雑誌類、ダンボール、新聞紙に分別して回収業者の車に積み込む作業を行いました。PTAの本部役員や会員委員、子育て連の役員をはじめ、保護者やボランティアのご協力のお陰で、無事、終わることができました。この活動の収益金は、本校の子どもたちの教育活動の充実のために活用いたします。

今回は、3年ぶりの開催となりました。計画・準備の段階から当日の運営まで、廃品回収に携わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



○全校集会 ～個性を認め合い、自分らしさを大切に～

6月の全校集会のテーマは、「男女の性別と自分らしさ」についてでした。

あえて偏見を伴った例を挙げて説明し、「男の子だから男らしく」「女の子だから女らしく」という考えは、すべてに当てはまらないものであり、男女は平等で「自分らしさ」が大切であると話しました。また、友だちの個性を認め合うことも大切であると話しました。

さらに、SDGsの目標5「ジェンダー平等」にも触れ、各国の国会議員の女性の割合を例に挙げて、世の中には男女間の役割に不平等があることも説明しました。

自分の個性に自信を持ち、友だちの個性も認め合って生活し、男女が平等な世の中になってほしいと思えます。



○情報モラル教室 ～正しい使い方を身につけましょう～

富岡警察署の方を講師にお招きして、体育館で5・6年生を対象に情報モラル教室を開催しました。

「おぜのかみさま」（セーフティネット標語）を用いて、正しくインターネットを使うことをわかりやすく話してくださいました。

また、SNSにアップした写真から住んでいる場所がわかってしまったり、個人が特定されてしまったりすることがあるので、SNSを使うときは、家の人と相談してルールを決めてから使うことが大切だと学びました。

